

日本藻類学会の入会申込みについて

日本藻類学会に入会を希望される方は、学会ホームページの「入会案内」から入会申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、電子メールに添付して会員事務担当（長里千香子 jsp@wwsoc.nii.ac.jp）まで送付してください。記入の際は同ホームページにアップしてあります記入例をご参照ください。

該当する会員種別の年会費（普通会员 8,000 円、学生会員 5,000 円）は郵便振替でお支払いいただきますようお願いいたします。なお、普通会员に限り、2 年目以降は会費の自動振替がご利用できますので、ご希望の方は会員事務担当までご連絡ください。

入会申込書送付先 〒051-0003 室蘭市母恋南町 1-13
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター室蘭臨海実験所
長里 千香子 宛
TEL： 0143-22-2846
FAX； 0143-22-4135
E-mail： jsp@wwsoc.nii.ac.jp

会費払込先 郵便振替口座番号：01640-8-2747
加入者名： 日本藻類学会

記入項目

● 必須項目

- 申し込み年月日： 年 月 日
- 入会希望年度（新年度は 1 月から）： 年度
- 氏名（日本語）：
- 氏名（英語）：
- 所属機関名（日本語）：
- 所属機関名（英語）：
- 所属住所（日本語）： 〒

- 所属住所（英語）：
- 所属電話：
- 所属 Fax：
- 所属 E-mail：

● 会誌の送付先を自宅に希望される方は以下の項目をご記入下さい。

- 自宅住所（日本語）： 〒
- 自宅住所（英語）：
- 自宅電話：
- 自宅 Fax：
- 自宅 E-mail：

● 会員種類 該当する項目の□に ✓ をご記入下さい。 (メールの場合は、該当しない項目を消去)

- 普通会员 (8,000 円)
- 学生会員 (5,000 円) ※
(指導教官署名)

(E-mail: _____)

※ 学生会員の場合は、郵便振替用紙の通信欄に指導教官の署名とメールアドレスの記載をお願いします。卒業等で連絡が取れない場合は指導教官に問い合わせる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

● 会誌送り先 所属先 自宅

◎ 会誌および名簿に公開を希望しない項目がありましたら、項目先頭の○に「×」をご記入ください。メールの場合は、○を「X」に置き換えてください。数字は半角で入力してください。

和文誌「藻類」投稿案内

1. 編集方針と投稿資格

本誌には藻学に関する未発表の原著論文（論文と短報）のほか、総説、大会講演要旨、藻類に関する企画（藻類採集地案内、書評・新刊紹介、学会・シンポジウム案内、学会事業案内など）および投稿記事を掲載します。原著論文は和文誌編集委員会（以下編集委員会）が依頼する審査員による審査を経たのちに編集委員長によって掲載の可否が決定されます。その他の報文の掲載の可否は編集委員会で査読を行ったのち編集委員長が判断します。なお、編集委員会が依頼した場合を除き、投稿は会員に限ります。共著の場合、著者の少なくとも 1 人は会員であることが必要です。

2. 原稿執筆・投稿要領

原稿は本文を和文とします。原著論文の構成は 1)～4) の通り。A4 紙に印刷されたオリジナル原稿 1 部とそのコピー 2 部からなる

計 3 部を編集委員会に提出してください（デジタルデータの提出は掲載決定後をお願いします）。写真を含む図版の複製に際しては、画質を落とさないよう留意してください。その他の報文は、最新号を参照して作成し、オリジナル原稿 1 部とコピー 1 部の計 2 部をご提出願います。

1) 投稿票

次の各項目について記載した投稿票（A4 で 1 枚）を添付してください： 著者名、標題、連絡先（連絡著者名、郵便番号、住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレス）、柱（著者名の略、標題の略）、原稿の枚数（本文、図版、表）。

2) 標題等

和文：標題、著者名、所属、住所

英文：著者名，標題，要約（200 語以内），キーワード（abc 順），所属，住所

3) 本文

緒言，材料と方法，結果，考察（または結果と考察），謝辞からなります。なお，短報ではこれらの項目を区別せず，一連の文章にすべてが含まれます。

本文中の文献，図および表の引用例：「…が知られる（岡村 1936, Yoshida & Silva 1992）。」「吉田ら（1999, p. 120）は…した。」「…がみられる（図 2, 表 3）。」「…上に出現した（Figs 2, 4-8, Table 3）」

4) 引用文献

本文中で引用したすべての文献を下記の例にならい，和文論文も含めて著者名の abc 順に並べる。

（雑誌中の論文）著者 出版年，論文標題，雑誌名 巻：掲載頁，

吉田忠生・菊地則雄・吉永一男 1999. アサクサノリの野生個体群. 藻類 47: 119-122.

Yoshida, T. & Silva, P. C. 1992. On the identity of *Fucus babingtonii* Harvey (Fucales, Phaeophyta). Jpn. J. Phycol. 40: 121-124.

（単行本）著者 出版年，標題，出版社，所在地，

岡村金太郎 1936. 日本海藻誌. 内田老鶴圃. 東京.

Abbott, I. A. & Hollenberg, G. J. 1976. Marine algae of California. Stanford University Press. Stanford, California.

（単行本中の 1 章）著者 出版年，引用した章の標題，編者 単行本標題，掲載頁，出版社，所在地，

原 慶明・千原光雄 1987. ラフィド藻. 日本資源保護協会（編）赤潮生物研究指針. pp. 544-566. 秀和. 東京.

Phyllips, J. A. 2007. Heterokontophyta: Phaeophyceae. In: McCarthy, P. M. & Orchard, A. E. (eds.) Algae of Australia: Introduction. pp. 264-287. ABRIS, Canberra & CSIRO Publishing, Melbourne.

5) 図（写真は図とします）と表，およびその説明

実際の印刷では，幅は 1 段 8.6 cm，2 段 17.8 cm，縦は最大で 24 cm となります。図には倍率を示すスケールを入れ，必要に応じて矢印や文字などを貼り付けてください。写真は光沢印画紙に鮮明に焼き付け，不要なスペースをカットしてください。表の罫線は横線のみです。図・表ともに脱落防止のために台紙とカバーをつけ，下端に著者名，図，表の番号を記入してください。図・表は原則的には編集においてスキャナーで取り込み，縮小しますが，デジタルデータ（PICT, JPEG, EPS, PDF 等）もあればとても助かります。ただし，その場合，十分な画質（350 dpi 以上）をもたせてください。図や表をワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどに貼り付けて提出しないようお願いいたします。画質の劣化の原因となります。なお，デジタルデータをお送りくださる場合でも，打ち出し原稿は必要です。

図，表の説明は，原稿の末尾に英文，和文または和英併記で記入してください。

3. ワープロ入力の注意

本誌は DTP によって作成されます。掲載決定後，最終原稿の

ファイルが保存された CD 等を提出していただき，印刷版下を作成します。したがって，テキストファイル形式で保存できるコンピュータで原稿を作成するようにしてください。ファイルの互換性が不明な場合は編集委員会までお問い合わせください。

原稿作成にあたっては次の点に注意してください。

- 1) A4 用紙に 1 行 40 字，25 行で印刷する。
- 2) 常用漢字，現代仮名遣いを使用する。
- 3) 本文中の句読点は「，」と「。」を用い「，」や「。」を使用しない。「，」は，和文では全角，欧文では半角でお願いします。
- 4) スペースキーは学名や英単語の区切り以外には使用しない。
- 5) リターンキー（改行）の使用は段落の終わりだけに限定し，1 行ごとに改行しない。
- 6) 段落行頭や引用文献の字下げにはタブ，インデント機能を使用する。
- 7) 全角の数字・アルファベットや半角のカタカナを使用しない。
- 8) ギリシャ，独，仏，北欧文字や数学記号などの特殊文字を打ち出し原稿に手書きで記入する場合（例：u を ü, u を μ, e を é, O を Ø に）は，赤字で明記する。
- 9) 上付き，下付き，イタリック，太字などの文字指定を打ち出し原稿に手書きで行う場合は，赤字で明記する。
- 10) 新種記載や学名の使用は最新の国際植物命名規約に従い，和名は全角カタカナを使用する。
- 11) 本文中ではじめて使用する学名にのみ著者名をつける。属と種形容語には下線を引く。
- 12) 単位系は SI 単位を基本とする。原稿中で使用できる主な単位と省略形は次のとおり：時間 hr, min；長さ m, mm, nm；重量 g, mg；容積 L, mL；温度 °C；波長 nm；光強度 Wm, μmol m⁻² s⁻¹

4. 校正

校正は初校のみとします。DTP で割り付けたファイルを PDF ファイルに変換して E-mail で送りますので，無料の PDF ファイル閲覧ソフト Acrobat Readerなどで画面上もしくは印刷して校正していただきます。校正の結果は E-mail でご返送ください。図表等は解像度が低い場合がありますので図表の最終チェックは編集委員会におまかせください。なお，PDF ファイルを扱えない場合は従来どおり校正刷りをファックスもしくは郵送いたします。校正はレイアウトおよび提出ファイルからデータ変換が正しく行われているかを確認するにとどめ，校正は受領後 3 日以内に編集委員会宛ご返送ください。

5. 制限頁と超過頁料金

論文は刷り上がり 10 頁，短報 4 頁，総説 16 頁以内を無料とします。頁の超過は制限しませんが，超過分については超過頁料金（1 頁あたり 12,000 円）が必要です。その他の報文については，原則として 4 頁を無料とします。2,700 字で刷り上がり 1 頁となる見当です。そのほか，折り込み頁，色刷りなどの費用は著者負担となります。

6. 別刷り

有料です。別刷り価格は，基本料金（送料と発送手数料を含む）2,000 円に，2 ページ 50 部当たり 1,000 円が加算されます。原則として別刷りは表紙無しとなります。PDF ファイル（有料）をご希望の方は別途ご相談下さい。校正時前後に，編集委員会より別刷申込みのご案内を申し上げます。

（2008 年 7 月 10 日改正）